

新旧ルール対応のセールの使用についての質疑応答

質問者：FJセーラーO.T氏

回答者：チーフメジャラー渋谷有人氏

Q 1

新ルール対応のセールと、旧ルール対応のセールを混ぜて使用してはいけないという話を聞いたのですが、本当なのでしょうか？どちらのルールであっても計測をパスできたものであれば、例えばフルバテンのメイン・セールと、旧ルール対応のジブ、スピンと組み合わせての使用は問題ないと思うのですが、どうも、うわさに振り回されそうで確認のメールを送らせていただきました。よろしくをお願いします。

A 1

2004年4月1日以降に作るセールは全て新ルールに適合しなければなりません。セールはもちろんメイン、ジブ、スピンドットでセットです。それらは同一ナンバーを持ち、新ルールで計測されます。一部だけ旧ルールが適応されるということはありません。

Q 2

たびたびすみません。もう少し教えていただきたいのですが、平成15年2月16日付の日本FJ協会発の移行措置によると、旧ルールにしたがって製作されたセールは旧ルールにより計測されるとありますし、今後も使用可能とあります。製作されたセールが最初に計測を受けた日付により、適用をうけるクラスルールが決まるのですよね？H16.3.5付けの協会の通達文書でもFJはオープンルールとあります。フルバテンのメインとおとし買ったジブとスピンドットを1つのセットとして使用することを禁止するような文面はクラスルールを読む限りでは見つけれないのですが、何が根拠なのでしょう？

A 2

平成15年2月16日付けの日本FJ協会発の移行措置は次のようです。

現行クラスルール(1999年改訂版)にしたがって製作されたセールは今後も使用してよい。これらのセールは、現行クラスルール(1999年改訂版)によって計測する。

新ルール発効後も2004年3月31日まで、現行ルールによるセールを製作してよい。

現行ルールに従って製作されたセールとは、メイン・セールの上段のバテンポケットの長さが 525mm を超えないものをいう。これを超えるメイン・セールは、ヘッド・セール・スピナーカーとともに、新ルールに従うものとし、新ルールによって計測される。

これによると、今年 3 月末まで旧ルールによるセールを作ってもよいが、フルバテン化されたセールは新ルールを適用する、その際ジブもスピンもともに新ルールを適用すると、明確に示してあります。

さらに、新クラスルールによると、G . . 2 . 1 セールは計測証明の時に施行中のクラス規則に合致しなければならない。となっており、このセールという語は、英文では Sails であり、複数です。従って、新しくセールを作って計測証明を受けるには、メイン、ジブ、スピンともに、その時のクラスルールに従わなければならないと考えています。ただ、現実には、今回のルール改正（および ISAF の計測方法）でセールは小さくなっていませんので、旧ルールに従うジブやスピンは全て新ルールに合致していると思われます。ですから、メインをフルバテン化してジブやスピンは古いものを使うことは可能です。古いジブやスピンも新しい計測証明を受けてください。